

活 動 報 告

平成17年度 活動報告

1. 教育実践総合センターの概要

(1) センター設立の趣旨

21世紀を迎え、国際化・情報化の進展、科学技術の発達、少子化・高齢化の進行、環境問題等、現代社会は複雑化・深刻化してきており、未来を生きる子どもたちの教育についても混迷を深めてきている。学校教育も大改革の時代を迎え、新しい教育課程の創造、総合的学習、学力問題、特別支援教育など新しい課題に直面している。子どもを取り巻く状況もいじめや不登校の益々の深刻化、低学年での学級崩壊や教師に対する暴力、アスペリション・クライシス等々の早急に対応しなければならない課題を突きつけてきている。

本学教育実践総合センターは、こうした学校教育を取り巻く諸問題に現実的に対処すべく、旧教育工学センターと旧教科教育センター（学内措置による）とを発展的に改組して、平成9年度に設立された。

(2) センターの目的

センターは、“教育実践及び教育臨床にかかわる理論的、実践的並びに実際的研究を行うとともに、学校教育諸問題に適切に対処することのできる教員並びに教育実践の指導者の養成に寄与すること（愛知教育大学教育実践総合センター規程第2条）”を目的としている。

(3) センターの構成

このセンターは2部門3分野（教育実践基礎研究部門－教科教育研究分野、教育臨床研究部門－発達支援基礎研究分野・教育臨床分野）からなり、教授1、助教授1、講師1、客員助教授2（愛知県教育委員会並びに名古屋市教育委員会から各1）の教員組織と事務職員1、事務補佐員1の事務組織および学内外の研究者および研究協力員とによって運営されている。

平成17年度の各分野の研究者、研究協力員の人数は下表の通りである。

部門	分野	研究者			研究協力員
		学内	附属学校園	合計	
教育実践基礎研究部門	教科教育研究分野	61	14	75	54
教育臨床研究部門	発達支援基礎研究分野	12	0	12	8
	教育臨床分野	11	0	11	39

2. 研究活動

センターでは先に述べた、3名の専任教員と2名の客員助教授及び多数の研究者・研究協力員が教育研究に従事している。今年度は、主に次のような活動を行った。

◎教育実践基礎研究部門

<教科教育研究分野>

センター主催研究会・研修会

シンポジウム

第4回研究会（70名参加）／10月22日（土） 13：30～

愛知教育大学教育実践総合センター教科教育研究分野シンポジウム

「教育の今日的課題と教科教育のあり方」

主旨説明 川上 昭彦（本学理科教育講座）

提 案 大槻 和夫（安田女子大学） 「国語科教育からの提言」

谷川 彰英（筑波大学） 「社会科教育からの提言」

橋本 健夫（長崎大学） 「理科教育からの提言」

総 括 佐々木徹郎（本学教学教育講座）

司 会 平賀 伸夫（本学教育実践総合センター）

分野研究会

第1回研究会(23名参加) / 7月4日(月) 16:40~

平成16年度活動報告および会計報告
平成17年度活動計画

第3回研究会(10名参加) / 9月15日(木) 10:00~

数学教育講演会

講演題目 How teachers could improve their professional activity by common, systematic reflections of their teaching activity.

「指導の恒常的反省による教師の専門性の向上」

講演者: Heinz Steinbring (ドイツ Duisburg Essenn 大学)

第6回研究会(24名参加) / 12月7日(水) 15:00~

教科教育研究会「習熟度をどのようにとらえるか」

提 案 志水 啓 (本学数学教育講座) 「数学教育からの提言」

佐藤 洋一 (本学国語教育講座) 「国語教育からの提言」

附属学校園との共同研究会、研修会

第2回研究会(15名参加) / 7月8日(金) 13:30~

附属高等学校との連携研究会

研究授業 情報A「インターネットによる情報の検索」(第1学年)

授業者: 野田 正幸 (附属高等学校)

第5回研究会(21名参加) / 10月27日(木) 14:30~

附属高等学校との連携研究会

研究授業1 総合的な学習の時間「新聞を読もう」(第2学年)

授業者 2年1組 野田正幸・安形和之

2年2組 今井英夫・石川理雄

2年3組 武田邦生・原 宏史

2年4組 黒岡孝信・服部悦子

2年5組 中尾 幸・加藤真太郎

研究授業2 総合的な学習の時間「韓国理解教育」(第1学年)

授業者 1年1組 杉本明隆 「韓国の歴史」

1年2組 伊奈福久代・伊藤文子 「韓国の音楽」

1年3組 近藤康代・安藤友人 「韓国の食文化」

1年4組 布施昭仁・稲垣安彦 「韓国の文化」

1年5組 倉地雅克・林原健二 「ハンゲル講座」

◎教育臨床研究部門

<発達支援基礎研究分野>

分野研究会

第1回研究会(4名参加) / 7月13日(水) 16:00~

1) 平成15年度活動報告および会計報告

2) 平成16年度活動計画

第2回研究会(12名参加) / 12月7日(水) 16:00~

論題: 「学生ボランティアによるメール相談の成果と課題」(報告: 愛知教育大学SOBA)

SOBA(いじめ相談ボランティア)研究会(毎週火曜)

寄せられた相談に対する返信の作成と、子どもの発達(いじめ・不登校・虐待・障害)に関する学習会

<教育臨床分野>

分野研究会

第1回研究会（4名参加）／8月22日（月） 17:30～

議題：平成17年度活動計画および予算について
心理教育相談室の統計などについて

教師等との共同研究会

愛知学校教育相談事例研究会（毎月第2金曜夜間、夏期・冬期合宿各1）

愛知学校カウンセリング研修会（毎月第1・3金曜夜間）関連文献の精読および事例検討

愛知教育大学心理療法研究会（毎月第3木曜夜間）

安城市子ども理解のための事例研究会（毎月第1火曜夜間）

附属学校園との共同研究会（いじめ・不登校・学級崩壊等プロジェクト）

第1回研究会（15名参加）／6月15日（水） 14:00～16:30

【事例発表】 乱暴・授業エスケープを主訴とする小6男児の箱庭療法過程

第2回研究会（15名参加）／7月20日（水） 14:00～16:30

【事例発表】 「人との接し方がうまくなりたい」と言う不登校女子の初期の面接過程

第3回研究会（16名参加）／9月21日（水） 14:00～16:30

【事例発表】 対人恐怖症の高2女子とのアニメを媒介にした面接

第4回研究会（14名参加）／10月19日（水） 14:00～16:30

【事例発表】 友達との関係が上手にもてない小4女児との遊戯療法過程

第5回研究会（12名参加）／11月30日（水） 14:00～16:30

【事例発表】 高2の不登校女子の事例

第6回研究会（16名参加）／12月21日（水） 14:00～16:30

【事例発表】 アスペルガー症候群と診断された不登校男子の面接

第7回研究会（14名参加）／1月25日（水） 14:00～16:30

【事例発表】 学校不応答を主訴とする小4女児のインターク面接

3. センター教員の学部・大学院教育への参与状況

教員名	担当教科	必・選	単位	学年	人数	備考	
生島 博之	生活の指導と相談（B）	必	2	4	50	学部（教員養成課程）	
	こころとからだセミナー	選	2	3	20	学部（3人で分担）	
	臨床心理実習Ⅰ	必	1	M	16	学校教育臨床専攻	
	臨床心理実習Ⅱ	必	1	M	16	学校教育臨床専攻	
	臨床心理面接Ⅰ（昼）	必	2	M	8	学校教育臨床専攻	
	臨床心理面接Ⅰ（夜）	必	2	M	2	学校教育臨床専攻	
	臨床心理面接Ⅰ（夜）	必	2	M	2	学校教育臨床専攻	
	サテライト						
	遊戯療法特論	選	2	M	12	学校教育臨床専攻	
	修論指導（特別研究Ⅰ）	必	2	M1	3	学校教育臨床専攻	
	修論指導（特別研究Ⅱ）	必	2	M2	7	学校教育臨床専攻	

なお、学校教育臨床専攻では、当センター心理教育相談室での臨床実践（教員が院生とペアで相談ケースを担当すること）を、授業（講義、演習、実習）と同程度に必修としており、1年間（平成16年11月～平成17年12月）に629時間の心理教育相談（カウンセリング）を実施した。そして、これらのケースに関する指導院生などへの個人スーパービジョンを52時間実施した。それ故、計681時間をコマ数（1.5時間×15回）に換算すると30.3コマを担当したことになり、学部および大学院の授業をプラスすると39.6コマ担当したことになる。

教員名	担当教科	必・選	単位	学年	人数	備考
平賀 伸夫	理科研究B I (前期)	必	1	2	10	学部教育科目
	環境と人間セミナー (前期)	必	2	3	50	学部教育科目
	総合演習Ⅱ (前期)	必	1	4	2	学部教育科目
	環境教育概論 (前期)	選	2	1	50	学部教育科目
	環境教育方法論Ⅰ (前期, 昼)	選	2	M	40	環境教育専攻
	保育内容研究・環境A (後期)	必	1	2	20	学部教育科目
	総合演習Ⅰ (後期)	必	1	3	20	学部教育科目
	環境教育方法論Ⅱ (後期, 夜)	選	2	M	10	環境教育専攻
	卒研指導					3
修論指導					1	環境教育
教員名	担当教科	必・選	単位	学年	人数	備考
川北 稔	平和と人権入門 アドバイザー (後期)	選	2	1	5	学部教育科目

4. 教育事業

センターでは、本年度に次の教育事業を行った。

①学生のボランティア活動による「訪問科学実験」の実績

訪問日	訪問先	実施実験数 (イベント形式)	参加大学生(延べ)	引率教員(延べ)	実験体験者学年・数
5/25	刈谷市立平成小	14	62	4 (戸谷, 平賀, 川上)	5, 6年・133
7/30	愛知万博「科学と遊ぶ体験ひろば」*	1 (講座形式)	8	3 (戸谷, 平賀, 川上)	約640 (来場者 690)
7/31	愛知万博「科学と遊ぶ体験ひろば」	1 (講座形式)	9	3 (戸谷, 平賀, 川上)	約610 (来場者6259)
10/15	豊橋「第20回子どものための科学展」*	4	12	1 (戸谷)	スライム受講者・ 299 (来場者3086)
10/16	豊橋「第20回子どものための科学展」*	6	5	1 (長沼)	約280 (来場者2965)
10/26	幸田町立豊取小PTA家庭学級	11	41	1 (戸谷)	3年, 保護者・110
10/29	一色町立一色中部小PTA	7	28 (含OB1)	1 (戸谷)	児童, 保護者・98
11/16	刈谷市立住吉小	10	37	2 (戸谷, 平賀)	5年・87
11/19	知立「第5回性別学習フェスティバル」*	1 (講座形式)	9	1 (戸谷)	児童, 保護者・54
11/30	日進市立香久山小	10 (講座形式)	57 (含試参加3)	1 (戸谷)	5, 6年・390
12/07	岡崎市立岩津小	14	48 (含試参加1)	1 (戸谷)	4～6年・223
12/14	三好町立北郷小	12	48 (含試参加2)	2 (戸谷, 平賀)	5, 6年・137
総計	12回	-	364名	21名	2461名以上

ボランティア証明書発行者 114名, *地域貢献型, 他は全て学校行事型

②教師等のための公開講座の実施

- 『学校教育臨床－事例研究A－』(17.6.4.～18.3.4. 全9回27時間, 主任講師: 生島博之, 参加者10名)
- 『箱庭づくり体験』(17.6.5.～17.6.25. 全2回9時間, 主任講師: 生島博之, 参加者30名)
- 『学校教育臨床－事例研究B－』(17.6.18.～18.3.18.全9回27時間, 主任講師: 生島博之, 参加者14名)
- 『教育臨床セミナー』(17.8.23.～17.8.24. 3日集中17時間, 主任講師: 佐藤勝利, 参加者24名)
- 『聞いて学ぶ, 動いて学ぶ, 総合的学習の理論と実践』(全3回9時間, 参加者10名)

③附属岡崎中学校及び附属名古屋中学校でのスクールカウンセリングの実施 (17.4.8.～18.3.10.全39回207時間)

④教育臨床分野による教育事業

実践力の優れた臨床心理士を養成するために、学校教育臨床専攻の臨床心理士教員および客員教員との合同で、臨床心理学コースの大学院生の臨床実習として、ケースカンファレンスを実施してきている。さらに、修了生へのアフターケアとして心理療法研究会を行い、グループ・スーパービジョンもおこなっている。

一方、学部生に対しては、将来に教員をめざすもの等を対象として、不登校児童・生徒へのボランティア（訪問支援・適応指導教室など）に関心があり、学外活動支援実習室に登録した学生に対して、学習会を開いて研修を行い、時期をみて実習希望先に派遣している。

なお、下記の表は、平成17年度に参加した学生の数を示している。

	修了生	M2	M1	4年	3年	2年	1年	合計
ケースカンファレンス①	1	16	11					28
ケースカンファレンス②	2		8					10
心理療法研究会	15							15
学外活動支援実習室				2	5	1	2	10

- 1) ケースカンファレンス①（センター協力員・院生スタッフ対象、28名）15回 教員3名～8名
- 2) ケースカンファレンス②（いじめ・不登校・学級崩壊プロジェクトを兼ねる）7回 教員3名 院生10名
内地留学生4名 附属中学校・高校教員3名
- 3) 愛知教育大学心理療法研究会 毎月1回 臨床心理士（愛知教育大学大学院学校教育臨床専攻 臨床心理学コース修了生ほか）10名
- 4) 学外活動支援実習室学習会 隔週金曜（4限） 将来に教員をめざす学生ほか 10名
- 5) 愛知学校教育相談事例研究会 毎月1回（含合宿研修＝夏期・冬期）小中高教員等30名
- 6) 愛知学校カウンセリング研修会 毎月2回 小中高教員等10名

5. 相談事業

本年度に、教育実践総合センターでは、以下の相談活動を行った。

1) 電子メール、FAXによるいじめ相談

「SOBA」(Symposium of Bullying in Aichi: 学生を主体としたボランティア活動)による電子メール・FAXを利用した相談活動（4月から10月までに75件の受信内容に対する返信）

事 項	対 象	件 数	時 間	担当者等
電子メール、FAXによるいじめ相談「SOBA」	一般	75	随時	折出健二、川北 稔、 いじめについて語る会 メンバー

2) 面接教育相談

センター教育臨床分野が中心となり、愛知教育大学教育実践総合センター心理教育相談室を運営してきた。ここでは、いじめ・不登校をはじめとする面接教育相談に応じてきており、毎週1回1時間の親子併行面接を基本として、カウンセリング、箱庭療法、プレーセラピー、等の技法を用いたインテンシブな心理療法を行ってきた。

同時に、この面接教育相談は学校教育臨床専攻臨床心理学コースの大学院生の臨床教育の場にもなっており、臨床心理士資格をもつ教員（センター教員並びにセンター研究員）が個人スーパービジョンをしながら、大学院生にも担当させてきた。また、ほぼ月3回の割合でケースカンファレンスを持ち、ケース検討を行う中で、大学院生の臨床教育の一環としてのグループ・スーパービジョンに充ててきた。

本年度（平成16年12月1日～17年11月30日）の面接教育相談の概要は以下の通りである。

事 項	対 象	人 数	時 間	担当者等
①外来面接相談	一 般	175	2,764	生島博之、他学内臨床 心理士教員
②対教師等相談	教員等	79	133.5	
内 訳：				
①外来面接相談				
受付ケース数	112（175人）	総面接回数	2,764回	
前年度からの引継ぎ	77（129人）	総面接時間	2,764時間	
新規受付	35（46人）	面接回数範囲	1～51回	
<問 題 別>				
不登校・不登校傾向	45	家庭内暴力	2	
対人関係の問題	16	いじめられ	2	
場面緘黙	2	自己臭	1	
遺尿・吃音・チック	4	強迫傾向	1	
発達障害	6	リストカット	2	
感情のコントロール	2	対人恐怖症	2	
非行・怠学	5	摂食障害	1	
落ち着きがない・易怒性	2	通呼取	1	
生活の乱れ	1	家族関係の問題	2	
自分（の性格）について	4	その他	11	
<面接形態別>				
単独面接（本人）	29	父母子併行面接	4	
親（母）面接	11	母子併行面接	68	
<年齢区分別>				
幼 児	2	高校生、16～20歳	17	
小学生	41	成 人	6	
中学生	26	親による子の相談	83	
<結 果 別>				
終 結	28	中 断	14	
継続中	132	経過観察	1	
②対教師等相談				
受付ケース数	79	総面接回数	79回	
前年度からの引継ぎ	4	総面接時間	133.5時間	
新規受付	75			
<問 題 別>			<結 果 別>	
幼稚園・保育園学級運営	0（0人）	終 結	74	
学級運営	37（38人）	継続中	5	
スクールカウンセラーへのスーパービジョン	6（6人）			
こころの教室相談員などへのスーパービジョン	7（6人）			
電話相談員へのスーパービジョン	18（18人）			
遠隔指導教官指導員へのスーパービジョン	6（5人）			
その他	6（6人）			

6. 地域・教育委員会等と連携した活動

センターでは、本年度に地域・教育委員会等と連携して、次の活動を行った。

①愛知県教育委員会派遣教員内地留学生4名の臨床教育（大学院レベルの受け入れ）

- 伊藤 政治 「線描画投影法を活用した教育相談的アプローチの有効性」
 ～バウムテスト・星と波テストの統計的調査を中心に～
- 清水 貴子 「ITを利用した教育相談活動に関する展望」
 ～電子メールを活用したカウンセリングの可能性を探る～
- 野田 悦朗 「学校の場で生徒の意識を課題目標へと誘導するために」
 ～自我目標の強い生徒を課題目標へと促す指導についての一考察～
- 古道 由美 「学校の実情に即した教育相談の在り方についての一考察」
 ～心の安全地帯を目指して～

②県・各市教育委員会との連携

- | | |
|--|--------|
| 1) 南郡市教育委員会・カウンセリング講座（講師：生島博之、参加者60名） | 5月20日 |
| 2) 大口町生涯学習講演（講師：菊島勝也、参加者20名） | 5月21日 |
| 3) 安城市教育委員会・家庭教育講演会（講師：生島博之、参加者210名） | 5月30日 |
| 4) 西三東地区高等学校教育相談部会（講師：生島博之、参加者45名） | 6月17日 |
| 5) 豊橋市立八町小学校・両親学級講演（講師：中川美保子、参加者150名） | 6月18日 |
| 6) 名古屋市立御田中学校・現職研修（講師：中川美保子、参加者25名） | 6月30日 |
| 7) 三重県立上野高等学校・生徒対象講座（講師：中川美保子、参加者250名） | 7月7日 |
| 8) 愛知県総合教育センター・学校教育相談中級講座
（講師：廣澤愛子、参加者20名） | 7月13日 |
| 9) 豊明市初任者研修・家庭療法の理論と実習（講師：生島博之、参加者8名） | 8月1日 |
| 10) 江南市立古知野東小学校・教育相談事例検討会
（講師：菊島勝也、参加者30名） | 8月3日 |
| 11) 師勝町SSN事業研修会（講師：中川美保子、参加者40名） | 8月3日 |
| 12) 豊田市小波小学校・現職研修（講師：生島博之、参加者15名） | 8月4日 |
| 13) 知立市教育委員会・校長研修（講師：生島博之、参加者10名） | 8月19日 |
| 14) 新城市千郷中学校・現職研修（講師：生島博之、参加者15名） | 8月28日 |
| 15) 尾張教育事務所社会教育委員研修会（講師：菊島勝也、参加者40名） | 9月7日 |
| 16) 幸田小学校・現職研修（講師：中川美保子、参加者20名） | 9月14日 |
| 17) 稲沢市立牧川小学校・小中総合学習発表会
（主任講師：菊島勝也、参加者40名） | 10月17日 |
| 18) 愛工大名電高校・総合学習（主任講師：菊島勝也、参加者40名） | 10月20日 |
| 19) 名古屋市立八社小学校・現職研修（講師：中川美保子、参加者25名） | 10月27日 |
| 20) 名古屋市立江西小学校・現職研修（講師：生島博之、参加者15名） | 11月11日 |
| 21) 愛知県総合教育センター・学校教育相談上級講座事例研究
（講師：生島博之、参加者20名） | 11月18日 |
| 22) 三重県志摩・教育相談担当者支援地域研修会
（講師：中川美保子、参加者25名） | 11月25日 |
| 23) 西三北地区生徒指導研究会教育相談部会（講師：生島博之、参加者15名） | 12月6日 |
| 24) 名古屋市教育センター・特別教育相談員研修
（講師：生島博之、参加者20名） | 12月13日 |
| 25) 豊明市教育委員会・不登校対策学習会（講師：生島博之、参加者20名） | 1月24日 |

③県・各市教育委員会のいじめ・不登校・問題行動対策委員会への協力（愛知県、同尾張教育事務所、名古屋市、豊田市、刈谷市、知立市、安城市、西尾市ほか）

④「学校教育支援データベース」による愛知県内小・中学校を主とする校内研修会講師、保護者会講師、児童・生徒向けの講師等の紹介（17年1～12月の依頼件数51件）

⑤不登校児童・生徒への学生ボランティアの派遣（愛知県：ホームフレンド、岩倉市・江南市：メンタルフレンド、西尾市：チア・フレンド、豊田市青少年相談センター：ユースワーカーほか）

⑥SOBAメンバーによる、フリースクール「クッパ池の原センター」（田原市）でのボランティア活動

7. 教育実践総合センター刊行物

センターでは、本年度に次の刊行物を刊行した。

- 1) 『愛知教育大学教育実践総合センター紀要』第9号（平成18年3月）
- 2) 『SCOPE II』第9号（平成18年3月）
- 3) 『学校教育支援データベース-Ver.5-』（平成18年3月）
- 4) 『教育臨床事例研究』第14号（平成17年9月）
- 5) 『教育臨床事例研究』第15号（平成18年3月）
- 6) 『教育臨床学研究』（愛知教育大学教育実践総合センター心理教育相談室紀要）第7号（平成18年3月）
- 7) 『SOBA活動報告書』第3号（平成18年3月）

8. その他の活動

その他、センターでは、本年度に次の活動を行った。

- 1) 「学校教育支援データベース」の作成とその活用（愛知県内小・中学校の教師、保護者、児童・生徒向けの支援の紹介）
- 2) 教科書データベースの管理
- 3) 教材作成環境の整備
- 4) 「SOBA」による学習会（いじめ・不登校などについて）

9. 事業日誌

4月8日	愛知学校カウンセリング研修会（以降毎月2回開催、対象：教員等）
4月15日	愛知学校教育相談事例研究会（以降毎月1回開催、対象：教員等）
4月21日	愛教大心理療法研究会（以降毎月1回開催、対象：OB臨床心理士ほか）
4月24日	ケースカンファレンス（以降毎月2回の頻度で開催）
4月27日	第1回教育実践総合センター委員会
6月4日～7月2日	公開講座「聞いて学ぶ、動いて学ぶ、総合的学習の理論と実践」（全3回、対象：教員）
6月4日～3月4日	公開講座「学校教育臨床-事例研究A-」（全9回、対象：教員・保育士等）
6月5日～25日	公開講座「箱庭づくり体験」（全2回、対象：一般）
6月15日	第2回教育実践総合センター委員会
6月18日～3月18日	公開講座「学校教育臨床-事例研究B-」（全9回、対象：教員・保育士等）
7月4日	第1回教科教育研究分野研究会・研究会
7月8日	第2回教科教育研究分野研究会・研究会
7月13日	第1回発達支援基礎研究分野研究会
8月	フリースクール「クッパ池の原センター」でのボランティア活動
8月22日	第1回教育臨床分野研究会
8月22日～24日	公開講座「教育臨床セミナー」（対象：教員等）
9月	「教育臨床事例研究」第14号発行
9月15日	第3回教科教育研究分野研究会・研究会
10月22日	第4回教科教育研究分野研究会・シンポジウム「教育の今日的課題と教科教育のあり方」
10月27日	第5回教科教育研究分野研究会・研究会
11月7日	センター紀要編集委員会
12月7日	第6回教科教育研究分野研究会・研究会
12月7日	第2回発達支援基礎研究分野研究会
1月13日～14日	愛知学校教育相談事例研究会宿泊研修（井ヶ谷荘）
2月	第3回教育実践総合センター委員会
3月	「愛知教育大学教育実践総合センター紀要」第9号発行 平成17年度教育実践総合センター運営協議会 「SCOPE II」（教科教育研究分野ニュースレター）No.9発行 「学校教育支援データベース-Ver.5-」発行 「教育臨床事例研究」第15号発行 「教育臨床学研究」（センター心理教育相談室紀要）第7号発行 「SOBA活動報告書」第3号発行

平成18年3月13日 印刷

平成18年3月15日 発行

愛知教育大学教育実践総合センター紀要 第9号

発 行 者 愛知教育大学教育実践総合センター
刈谷市井ヶ谷町広沢1
電話〈0566〉26-2316 (ダイヤルイン)

印 刷 所 シ ル バ ー 印 刷 有 限 会 社
刈谷市中山町1-15
電話〈0566〉21-1331(代)